

みやざきバイオマスリサイクル第2発電所に関する 「立地及び環境保全協定」を締結しました

2024年2月21日、川南町とみやざきバイオマスリサイクル株式会社は、鶏糞を燃料として使用するみやざきバイオマスリサイクル第2発電所の建設に関する「立地及び環境保全に係る協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

この協定は、畜産の町川南町において、みやざきバイオマスリサイクル株式会社が取組む、畜産排せつ物の有効利用に際し、発電所の健全な運営と、発電所及びその周辺はもとより川南町内の環境保全の推進を行い、循環型社会の構築を目指すものです。

引き続き、地域の皆さまのご理解・ご協力を頂きながら、第2発電所の建設を安全かつ着実に進め、鶏糞の有効利用を長期安定的に行うことで、循環型社会の構築と地球環境の保全に引き続き貢献してまいります。

<調印式の様子>



(左) 児湯農林振興局 海野局長 (中央) 川南町 東町長 (右) みやざきバイオマスリサイクル 山下社長

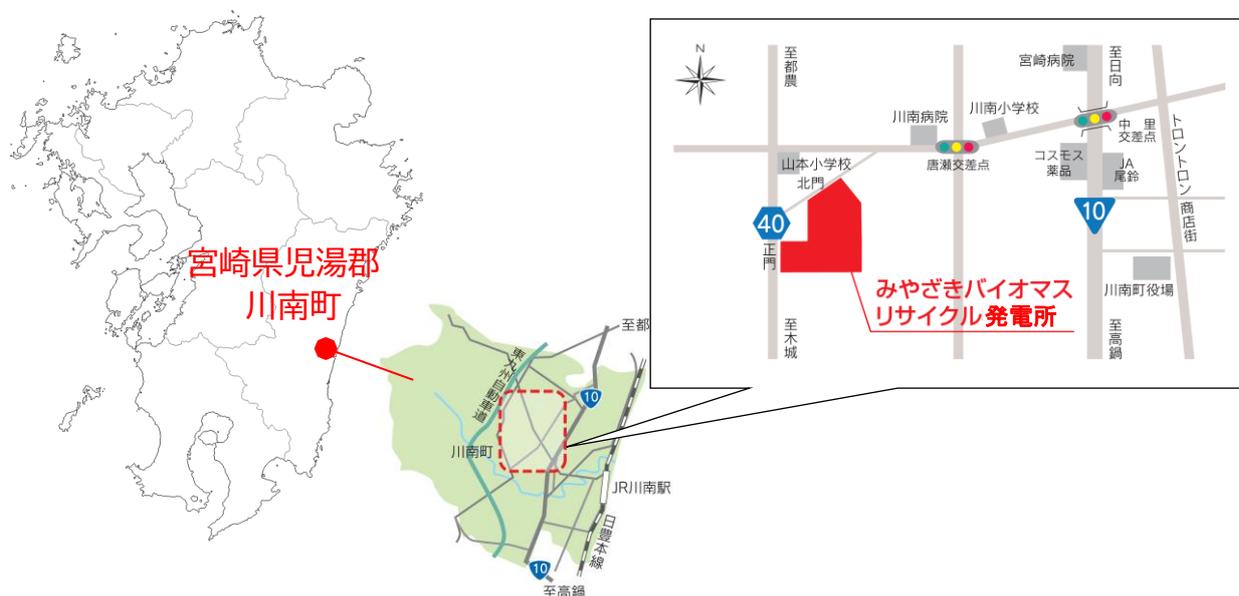
<第2発電所事業概要>

| | | |
|------------------------|---|---|
| 事業者 | みやざきバイオマスリサイクル株式会社 代表取締役社長 山下 壽 | |
| 出資者 | <ul style="list-style-type: none"> ・九電みらいエナジー(株) 42% ・宮崎バイオマス利用組合 22.4% ・児湯食鳥宮崎生産者組合 21.8% ・宮崎環境保全農業協同組合 9.8% | <ul style="list-style-type: none"> ・(株)児湯食鳥 1% ・日本ホイトファーム(株) 1% ・(株)ウェルファームフーズ 1% ・(有)山下商事 1% |
| 発電所名 | みやざきバイオマスリサイクル第2発電所 | |
| 所在地 | 宮崎県児湯郡川南町大字川南 4621 番地 1 | |
| 発電設備の出力 | 9,500kW | |
| 年間送電電力量 | 約6千万 kWh(一般家庭約2万世帯の年間消費電力量に相当) ^{※1} | |
| 使用燃料 | 約13万2千 t/年(鶏糞) | |
| CO ₂ 排出抑制効果 | 約2万3千 t-CO ₂ /年 ^{※2} | |
| 着工 | 2024年6月(予定) | |
| 営業運転開始 | 2026年4月(予定) | |

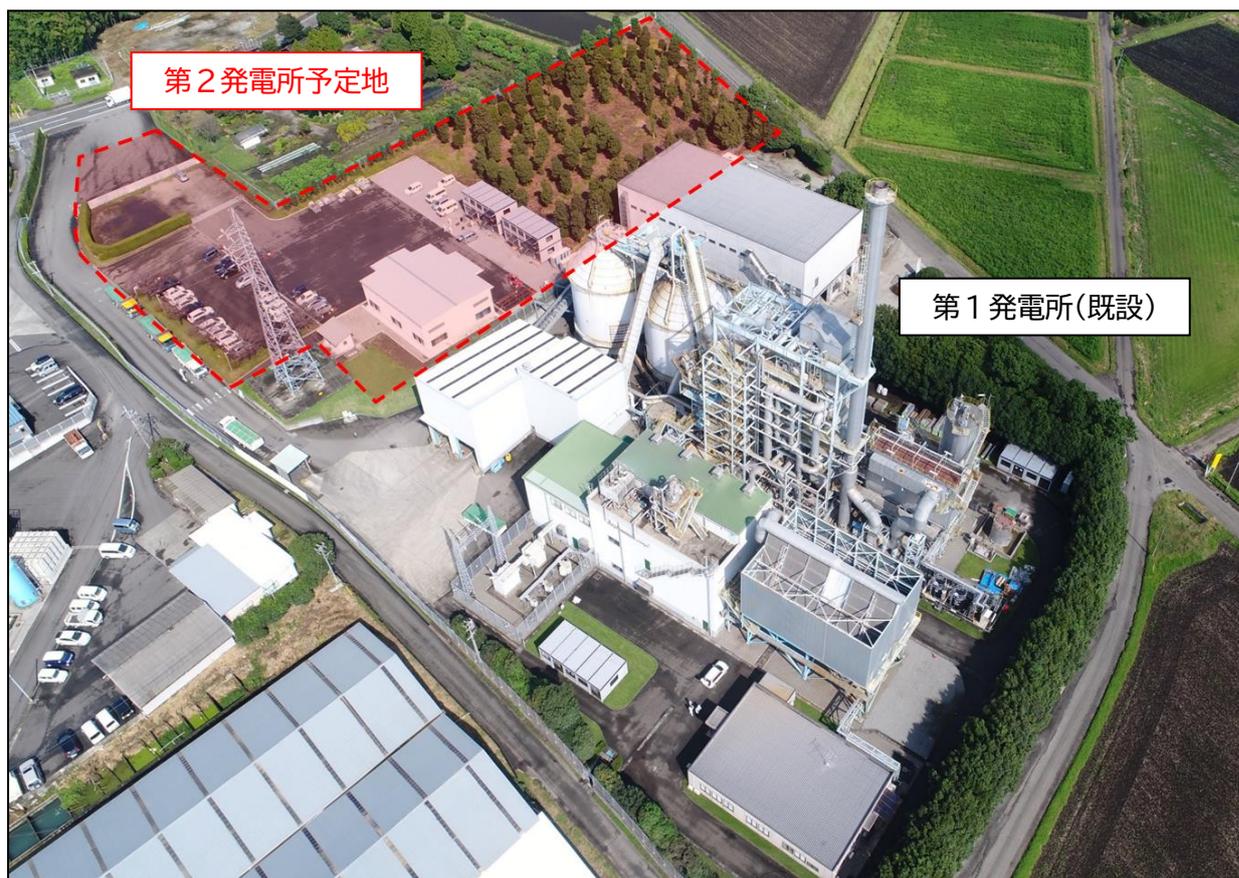
※1 1世帯当たり247.8kWh/月(2015年度)で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

※2 九州電力(株)のCO₂排出係数「0.385kg-CO₂/kWh」(2021年度)で算出

<発電所の場所>



<発電所の外観>



<参考：みやざきバイオマスリサイクル第2号発電所に関する過去のお知らせ>

- ・2023年3月8日「みやざきバイオマスリサイクル第2発電所の建設を決定しました」
は[こちら](#)

[お問い合わせ先]

みやざきバイオマスリサイクル株式会社

TEL:0983-27-6810

FAX:0983-27-6204